

## 都市再生整備計画評価委員会 議事録

### 1. 日時

令和2年度2月7日（金）14時から

### 2. 場所

小牧市役所 東庁舎4階 本会議用控室

### 3. 出席委員

大塚 俊幸	中部大学教授
萩原 聡央	名古屋経済大学教授
野中 隆司	小牧市文津区長
梅田 学	小牧市北外山区長
今枝 健幸	小牧市久保一色本田区長

### 4. 欠席委員

なし

### 5. 事務局

鵜飼 達市	小牧市都市政策部次長
川島 充裕	小牧市都市政策部都市整備課長
大澤 正人	小牧市都市政策部都市整備課都市整備係長
伊岐見 崇	小牧市都市政策部都市整備課都市整備係技師
戸松 裕貴	小牧市都市政策部みどり公園課公園整備係長
鹿野 裕	小牧市都市政策部みどり公園課公園整備係技師
杉山 英之	小牧市都市政策部区画整理課庶務係長
水野 美沙	小牧市都市政策部区画整理課庶務係技師
大塚 正則	小牧市市長公室協働推進課市民協働係長
飯嶋 淳司	小牧市市長公室協働推進課市民協働係主事

### 6. 傍聴者

なし

### 7. 議事

第1 開会

第2 会長の選出について

第3 会長の職務代理者及び議事録署名者の選任について

第4 議題

- (1) 事後評価制度の概要
- (2) まちづくりの経緯
- (3) 事後評価手続き等にかかる審議
- (4) 今後のまちづくりについて審議

第5 その他

## 1. 開会

### 【事務局（大澤係長）】

定刻となりましたので、会を始めさせていただきます。本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいまより、都市再生整備計画評価委員会を開催させていただきます。

初めに、都市政策部次長の鶴飼より挨拶を申し上げます。

### 【事務局（鶴飼次長）】

改めまして、皆様こんにちは。都市政策部次長の鶴飼でございます。よろしくお願いいたします。

本日お集まりをいただきました委員の皆様におかれましては、当委員会の委員の就任に際しましてご快諾をいただきましたこと、また本日こうしてご参集賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、本日の評価委員会の議題となります都市再生整備計画でございますが、都市の再生に必要となる公共公益施設の整備を重点的に進めるため区域を定め、道路、公園や場合によっては地区の開発などの整備を位置づける計画となっており、計画期間は概ね5年です。そして、この計画につきましては、計画の目標や成果指標を設定するとともに、事業の完了時においては市町村自らが事後の評価を実施し、その評価結果を公表するなど、事前の具体的な目標設定や事後の評価を重視したものとなっております。

こうしたことから、本日の委員会におきましては、小牧市が行います事後評価が適切に行われていること、また今後のまちづくりについて、中立・公平なお立場でご確認をいただきますとともに、ご意見をいただくことを目的といたしておりますので、委員の皆様におかれましては慎重なご審議をお願い申し上げます。簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

### 【事務局（大澤係長）】

続きまして、委員の皆様方のご紹介をさせていただきます。お手元に委員名簿をお配り

させていただいておりますが、中部大学人文学部教授の大塚俊幸委員でございます。

**【大塚委員】**

大塚でございます。よろしくお願いいたします。

**【事務局（大澤係長）】**

名古屋経済大学法学部教授の萩原聡央委員でございます。

**【萩原委員】**

萩原です。よろしくお願いいたします。

**【事務局（大澤係長）】**

文津区長の野中隆司委員でございます。

**【野中委員】**

野中です。よろしくお願いいたします。

**【事務局（大澤係長）】**

北外山区長の梅田学委員でございます。

**【梅田委員】**

梅田です。よろしくお願いいたします。

**【事務局（大澤係長）】**

久保一色本団区長の今枝健幸委員でございます。

**【今枝委員】**

今枝です。よろしくお願いいたします。

**【事務局（大澤係長）】**

以上、5名の皆様でございます。よろしくお願いいたします。

なお、皆様のお手元には委嘱状を配布させていただいておりますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

次に、先ほどご挨拶申し上げました都市政策部次長の鶴飼を除いた事務局の紹介をさせていただきます。

本日は、当該委員会の事務局を務めます都市整備課のほか、評価の対象となります都市再生整備計画に位置づけた各事業の事業担当課といたしまして、みどり公園課、協働推進課及び区画整理課の職員が出席をしております。

本委員会につきましては、都市再生整備計画評価委員会設置要綱に基づき実施をしており、本要綱第7条第2項の規定により、「委員会は委員の過半数が出席しなければ会議を開き議決することができない」となっております。本日の出席委員は5名全員でございますので、本会議は成立していることをご報告いたします。

また、都市再生整備計画事業は、住民への透明性・公開性を重視している制度であることから、本日の会議は公開とさせていただきます。

なお、委員会の議事録につきましても、情報公開コーナー、小牧市ホームページにより公開させていただきますので、よろしく願いいたします。

## 2. 会長の選出について

### 【事務局（大澤係長）】

それでは、次第2、会長の選出についてでございます。会長につきましては、要綱第6条第1項に「委員会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める」となっております。委員の皆様の中で立候補される方が会長をご推薦いただける方はございますでしょうか。

### 【萩原委員】

大塚委員を推薦したいと思います。これまでの評価委員会の会長を務められてきましたし、小牧市の都市計画審議会の委員、さらには小牧市の都市計画マスタープラン策定にも携わられてこられましたので、非常に経験豊かだと思います。したがって、大塚委員を推薦したいと思います。

### 【事務局（大澤係長）】

ただいま萩原委員から大塚委員を会長にとの推薦がありましたが、大塚委員、いかがでしょうか。

### 【大塚委員】

皆さんがよろしければお引き受けさせていただきます。

### 【事務局（大澤係長）】

他の委員の皆様もよろしいでしょうか。

### 【委員一同】

異議なし。

### 【事務局（大澤係長）】

ありがとうございます。それでは、大塚会長には会長席にご移動いただきますとともに、ご挨拶をいただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。

### 【大塚会長】

ただいま会長に推薦をいただきました大塚でございます。どうぞよろしく願いいたします。

この計画は、先ほど鶴飼次長よりお話がありましたけれども、近年、計画というのは作

って終わりではなく、それがどのぐらい進捗して、どのぐらい達成しているのか、それを自らチェックをして改善し、さらに次の計画につなげていくといったことが重要であります。そのチェックの一環として、この委員会があると思うのですが、市が自ら点検をされた内容が妥当であるかどうか、さらに今後のまちづくりをどう考えていくのか、といった市の考えが妥当であるかどうかを我々学識者、あるいは市民の方、特に住民の方目線で審査をしていただく、そういう会になります。

今日 1 回限りということですので、密度の濃いご議論をしていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**【事務局（大澤係長）】**

ありがとうございました。

それでは、以降につきましては会長に議事進行をお願いいたします。

**3. 会長の職務代理者及び議事録署名者の選任について**

**【大塚会長】**

それでは、お手元の次第に沿って議事を進めさせていただきます。

次第 3、会長の職務代理者及び議事録署名者の選任について、議題とさせていただきます。

要綱第 6 条第 3 項の規定に基づきまして、会長の職務代理者には萩原委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

**【委員一同】**

異議なし。

**【大塚会長】**

では、ご異議なしということですので、萩原委員、よろしくお願いいたします。

また、要綱第 8 条第 1 項の規定に基づきまして、議事録署名者には、名簿順で恐縮ですが、萩原委員と野中委員を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

**4. 議題**

**(1) 事後評価制度の概要**

**【大塚会長】**

続きまして、次第 4、議題ですが、初めに (1) の事業評価制度の概要について事務局からご説明をよろしくお願いいたします。

【事務局（大澤係長）】

それでは、議題（1）事後評価制度の概要につきまして、説明させていただきます。

説明に入ります前に、本日の資料の確認をお願いいたします。本日の資料につきましては、事前に委員の皆様へ送付させていただいておりますが、次第の一番下に本日の配布資料を記載させていただいております。

資料 1 といたしまして、「小牧市都市再生整備計画評価委員会」と書かれました A4 横の資料。

資料 2 といたしまして、「都市再生整備計画事後評価シート（原案）」と書かれました A4 横の資料。

参考資料 1 といたしまして、「都市再生整備計画（第 5 回変更）」と書かれました A4 横の資料。

参考資料 2 といたしまして、「小牧線沿線地区都市再生整備計画事業概要」と書かれました A3 横の資料。

そして参考資料 3 といたしまして、「都市再生整備計画事後評価方法書 小牧線沿線地区」と書かれました A4 縦の資料の 5 点となります。不足等はありませんでしょうか。ご確認ありがとうございます。

それでは、説明に入らせていただきます。

お手元の資料、「資料 1」の 3 ページをお願いいたします。

事後評価制度の概要といたしまして、「1. 都市再生整備計画事業とは」、「2. 事後評価のしくみと流れ」、そして「3. 評価委員会の役割」につきまして説明させていただきます。

資料の 4 ページをお願いいたします。

都市再生整備計画事業とは、これまで道路や公園、下水道など、個別の事業ごとに国庫補助事業としての審査や採択を受け、それぞれ個別に行っていた事業につきまして、複数の事業を 1 つの計画に位置づけ、一括して集中的に実施することにより、まちづくりを効果的、効率的に行おうとするものであります。

本評価委員会でご審議いただきます「都市再生整備計画事業 小牧線沿線地区」につきましては、次の議題で計画概要を詳しく説明させていただきますが、道路事業や公園事業、土地区画整理事業を一括して計画に位置づけ、計画期間である 5 ヶ年で集中的に実施をしてきたものでございます。

資料の 5 ページをお願いいたします。

事後評価のしくみと流れでございます。

事業評価につきましては、PDCA サイクルにより行ってまいります。図の中央、上段に

ございますプラン、都市再生整備計画の作成と事前評価から始まり、時計回りでドウ、計画に基づき事業を実施してまいります。なお、モニタリングとは事業途中の中間評価となります。次にチェック、事業完了時の事後評価の実施となり、次のアクト、事後評価の内容を踏まえ、必要な改善策を検討し、次の計画、プランに生かしていくものとなります。

資料の 6 ページをお願いいたします。

先ほどのチェック、事後評価でございますが、事後評価の目的は、事業の成果を住民にわかりやすく説明すること、国からの交付金をもたらした成果等を客観的に診断し、今後のまちづくりを適切な方向に導くことを目的としております。また、実施時期につきましては、交付終了年度、すなわち計画期間の最終年度に実施をいたします。

そして、事後評価の流れでございますが、はじめに事後評価のやり方を示した「方法書」を作成します。お手元に参考資料 3 として配布させていただいているものでございます。

次に、方法書に記載された時期、方法等に基づき、成果指標の確認や庁内検討会議など事後評価を実施いたします。

その後、事後評価の内容を公表いたします。

今回は、お手元の資料 2「事後評価シート（原案）」を、1 月中旬から下旬にかけて公表いたしました。

そして、本日の評価委員会、第三者機関による審査を経まして、評価結果の提出、フォローアップ等を行っていくこととなります。

資料の 7 ページをお願いいたします。

評価委員会の役割についてでございます。

評価委員会につきましては、本市が定めます「都市再生整備計画評価委員会設置要綱」に基づきまして、資料にございますとおり、事後評価の手続き及び都市再生整備計画の目標の達成状況の確認や、事後評価の妥当性についてご審議をいただくこと、及び今後のまちづくり等の内容の妥当性についてご審議をいただくことなどをお願いするものであります。

なお、それぞれの内容につきましては、後ほどの議題におきましてご説明をさせていただき、ご審議をいただくこととしております。

以上、簡単ではございますが、「議題（1）事後評価制度の概要」の説明とさせていただきます。

#### 【大塚会長】

ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明につきまして、皆様からご意見、ご質問等ありますでしょうか。

繰り返しになりますが、市で自己評価をされたものを、我々第三者機関として妥当であ

るかどうかをチェックするという事です。

もしよろしければ先に進ませていただいて、質問があればまた戻っていただいでご発言いただければと思いますので、引き続き(2)まちづくりの経緯に移りたいと思います。

## (2) まちづくりの経緯

### 【大塚会長】

「(2) 小牧線沿線地区におけるまちづくりの経緯」について、事務局からご説明をお願いいたします。

### 【事務局（大澤係長）】

それでは、「議題(2)まちづくりの経緯」につきまして、説明をさせていただきます。お手元の資料、資料1の8ページをお願いいたします。

まちづくりの経緯といたしまして、「1. 都市再生整備計画(小牧線沿線地区)の概要」、「2. 計画の変更履歴」、そして「3. 実施成果」につきましてご説明をさせていただきます。

資料の9ページをお願いいたします。

初めに、この度ご審議いただきます都市再生整備計画、小牧線沿線地区の概要につきましてご説明させていただきます。

小牧線沿線地区につきましては、市を南北に縦断します名鉄小牧線沿線のエリアで、面積は約520ha、計画期間は平成27年度から令和元年度の5カ年となっております。

資料の10ページをお願いいたします。

本地区のまちづくりの課題、10ページの資料の左側でございますが、まちづくりの課題を、「地域特性を生かした居住環境の整備・改善」、「公共交通の利用促進」、そして「安全・安心な市街地の形成」の3つとし、それを踏まえたまちづくりの目標として、大目標を「安全・安心で快適な居住空間の創出」と掲げ、さらに「多様なニーズに対応した良好な住環境の形成による人口定着」「自動車に過度に依存しない歩いて暮らせるまちづくり」及び「災害に強い安心・安全なまちづくり」の3つを目標に掲げました。

資料の11ページをお願いいたします。

次に、目標を定量化する指標、すなわち数値目標でございますが、本計画では3つの数値目標を設定しております。

先ほどご説明いたしました目標、「多様なニーズに対応した良好な住環境の形成による人口定着」に対応した指標といたしまして、「計画区域内居住率」を設定し、平成26年度の従前値18.3%に対し、目標値を18.9%に設定しています。

また、「自動車に過度に依存しない歩いて暮らせるまちづくり」に対応した指標といた



しまして、巡回バス利用者数を設定し、目標値は年 19 万 1750 人と設定しています。

そして「災害に強い安心・安全なまちづくり」に対応した指標といたしまして、安心・安全満足度、こちらはアンケートによるものですが、こちらを設定し、目標値を 73.3%と設定しています。

資料の 12 ページをお願いいたします。

こちらの図では、計画区域内における実施事業をお示ししております。

左側が北になりまして、区域の北部での田県神社前駅前広場整備や久保一色本田会館の整備、小牧文津、岩崎山前及び小牧南の 3 つの土地区画整理事業などを計画に位置づけております。

また、次のページ、13 ページとその次の 14 ページには、計画に位置づけた事業及びそれぞれの事業期間や事業費などをお示ししております。

資料の 14 ページの最後に記載をしておりますが、計画全体の総事業費は 25 億 4,050 万円となっております。

なお、「基幹事業」とは、道路事業や公園事業、土地区画整理事業など国があらかじめ示す、ハード整備等の各種事業であり、「提案事業」とは市町村の提案に基づくハード整備やソフト事業となります。

資料の 15 ページをお願いいたします。

続きまして、計画の変更履歴についてご説明させていただきます。

5 年間の計画を定め、事業を進めていく中、事業の進捗状況に伴いいくつかの計画変更を行っております。

主な変更内容といたしましては、記載のとおり、3 つの公園事業の削除や、小牧口駅前広場整備事業の追加を行っております。

ここで恐れ入りますが、お手元の資料、資料 2 事後評価シート原案をお願いしたいと思っております。資料 2 でございます。資料 2 の 3 枚目、中段に「添付資料 1-②都市再生整備計画に記載した事業の実施状況」をお願いいたします。

ここから裏面及び次のページにかけまして、各事業の変更内容を記載しております。また、この表の右側から 3 行目「都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響」と書かれた部分がございますが、事業の追加ですとか削除が当初に設定した指標に影響がある場合につきましては、数値目標の変更を併せて行っております。

恐れ入りますが、「資料 1」にお戻りいただき、16 ページをお願いいたします。

ただいまご説明をいたしました、事業の追加や削除等に伴う目標値の変更でございます。基本的には実施事業を追加した場合には目標値の上方修正を、逆に削除した場合には下方修正を行っているものでございます。

最後に、計画区域面積の変更でございます。

コンパクトな都市構造への転換を踏まえまして、平成 29 年度に計画区域を 600ha から 520ha に変更をしております。

資料の 17 ページをお願いいたします。

続きまして、実施成果につきましてご説明させていただきます。

はじめに、田県神社前駅前広場整備でございます。

事業期間は、平成 27 年度から平成 28 年度、整備規模は 5300 m<sup>2</sup>で、事業費は、道路事業で 1 億 5,400 万円、高質空間形成施設、こちら高質空間というのは上物を通常の道路よりも少し景観に配慮したものなどの整備を行うものになりますが、こちらで 7,700 万円、合計 2 億 3,100 万円でございます。

資料の次のページ、18 ページをお願いいたします。

次に、岩崎山公園でございます。

小牧岩崎山前土地区画整理事業区域内の公園となりますが、事業期間は平成 27 年度から令和元年度、整備規模は 2 万 7,000 m<sup>2</sup>で、事業費は 3,400 万円でございます。

資料の 19 ページをお願いいたします。

浜井場公園でございます。小牧南土地区画整理事業区域内の公園となりますが、事業期間は平成 28 年度から令和元年度、事業規模は 1 万 m<sup>2</sup>で、事業費は 1 億 4,790 万円でございます。

資料の 20 ページをお願いいたします。

小牧口駅前広場でございます。現在整備途中でございますのでイラストとなっておりますが、事業期間は令和元年度、整備規模は 1,285 m<sup>2</sup>で、事業費は、駐輪場の整備で 500 万円、広場整備で 4,000 万円の合計 4,500 万円でございます。

資料の 21 ページをお願いいたします。

久保一色本田会館でございます。久保一色本田区における会館の新築整備でございますが、事業期間は平成 27 年度、整備規模は 370 m<sup>2</sup>で、事業費は 9,900 万円でございます。

資料の 22 ページをお願いします。

土地区画整理事業の小牧文津地区でございます。小牧文津土地区画整理事業全体の事業期間は平成 10 年度から令和 6 年度の予定となっておりますが、都市再生整備計画の計画期間であります平成 27 年度から令和元年度の事業費は 10 億 8,500 万円、道路整備実施率で 59.85%から 73.64%、建物移転実施率で 73.72%から 90.51%の事業進捗が図られました。

資料の 23 ページをお願いいたします。

土地区画整理事業の小牧岩崎山前地区でございます。小牧岩崎山前土地区画整理事業全体の事業期間は平成 4 年度から令和 8 年度の予定となっておりますが、都市再生整備計画の計画期間であります平成 27 年度から令和元年度の事業費は 1 億 9,900 万円、道路整備実施率で 90.01%から 94.18%、建物移転実施率で 89.96%から 96.07%の事業進捗が図られました。

資料の 24 ページをお願いいたします。

土地区画整理事業の小牧南地区でございます。小牧南土地区画整理事業全体の事業期間は平成 6 年度から令和 4 年度の予定となっておりますが、都市再生整備計画の計画期間であります平成 27 年度から令和元年度の事業費は 7 億 1,200 万円、道路整備実施率で 77.09%から 84.39%、建物移転実施率で 85.96%から 97%の事業進捗が図られました。

資料の 25 ページをお願いいたします。

小牧口西公園の整備事業に係るワークショップでございます。事業期間は平成 30 年度、開催回数は 4 回で、事業費は 260 万円でございます。

以上、簡単ではございますが、「議題 (2) まちづくりの経緯」の説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

#### 【大塚会長】

ありがとうございました。ただいま事務局よりまちづくりの経緯についてご説明をいただきましたが、皆様からご質問等ございますでしょうか。今回市が行った事後評価の対象となる事業が、この小牧線沿線地区の都市再生整備計画事業ということで、その事業の中身、その内容がどういうものであって、それがどういう経緯で変更を重ねながら実施をし、最終的にどのような成果が得られたかということで個別の事業についてご説明をいただきました。これについて、ご質問等いかがでしょうか。それぞれ住民の方からすると馴染みの事業というか、そういうところがあるかと思いますが、いかがでしょうか。

**【萩原委員】**

今回事業で基幹事業と提案事業という説明を先ほどしてくださいまして、今回評価に係る中身を見ていったときに、提案事業の「資料 1」の 25 ページ、街区公園整備事業のワークショップを 4 回開催したという説明がありました。ワークショップとはどういったことをするのでしょうか。また、これが今後どのように生かされるのか、それについて教えてください。

**【大塚会長】**

いかがでしょうか。提案事業についてですね。

**【事務局（戸松係長）】**

このワークショップというのは、地元の方、区長さんや子ども会の方などに会議室に集まっただいて、皆さんでどのあたりに広場を設けて、どういった遊具をどこへ設けるかということを決めていただいて、これを実施設計に反映させていくということで会議を開催したものであります。

**【萩原委員】**

ということは、これから先というか、この 5 カ年の計画として我々は評価するんだけど、今おっしゃったワークショップでの実際に検討内容というのはこれから先の事業に反映されると理解してよろしいでしょうか。

**【事務局（戸松係長）】**

これから先というか、来年度に工事をやります。平成 30 年度にワークショップを行い、来年度、工事自体は 1 年で終わるのですが、1 つの公園だけのワークショップです。

**【萩原委員】**

わかりました。25 ページのところはワークショップの成果とあるのですが、要するに小牧市が持っている小牧市の土地のところをどのような形で使っていったらいいのかということを、区長さん、組長さん、住民の方で話し合ったということはわかります。そのワークショップの成果をどのような形で私たちは評価していったらいいのかなというところの質問です。

**【事務局（大澤係長）】**

まず先ほど説明がありましたとおり、ワークショップという内容そのものの成果といったしましては、次の公園整備のための実施設計に生かすものというものがありますが、実際には整備というのは今回の計画期間よりも後に整備をされる。そういったときに、この

都市再生整備計画での成果というもので行きますと、まず住民が集まって何か 1 つのことを考えるとといったような地域コミュニティの活性化とか、そういったものの醸成につながったのではないかというような評価を都市再生整備計画としては思っています。それとは別に実施設計の成果というのはもちろんございますが、そのように考えています。

【大塚会長】

よろしいですか。

【梅田委員】

北外山区の区長の梅田です。

平成 30 年度の段階でのワークショップというのは参加していないのでワークショップの内容はよくわかりませんが、実際のところはでき上がってからのいろんな問題が出てくると思うのですが、そこら辺についてはどうお考えでしょうか。

【大塚会長】

今のお話は多分この後の「(4) 今後のまちづくりについて」のところでそういうやられた事業をこれから事後評価でされて、それに対していろいろお聞きするという場面が後で出てくると思うのですが。

【梅田委員】

まだ九十何%ですから、ちゃんと終わったところで評価するということがあるんですよ、多分。

【大塚会長】

今のはちょっと微妙な話なのですが、まだ途中段階で、最終的に完全に終わったときにもう 1 度評価する機会があるのではないかというご質問ですね。

【梅田委員】

そうですね。今日が最後だというようなことを最初に言われたので、その辺のところ引っ掛かっているのですが。

【大塚会長】

そうですね。今後のスケジュールに関わる場所ですが、先に説明いただいたほうがご理解いただきやすいかと思しますので、お願いできますか。

**【事務局（大澤係長）】**

今のご質問については、小牧南地区というのが長い事業期間の区画整理事業になりますので、この都市再生整備計画の5年間で終わるものではございません。今後も区画整理事業は続いていくことになります。後ほど説明させていただきますが、今後のまちづくり方策という部分でも継続して土地区画整理事業を行っていくべきだと考えているところでございます。

評価に関しては、まず今日の事後評価委員会につきましては、この5年間区画整理事業を実施してきたことによって、道路が整備されて、狭い道が改善されたという成果ももちろんありますが、まだ未整備部分もありますので、それを踏まえて今後のまちづくりとして考えていくべきだと考えております。まずはこの5年間でできた部分を評価していただき、また後ほど説明させていただきますが、今後のまちづくり方策も含めてご意見をいただきたいと思っています。

**【大塚会長】**

ちょうど5年たったところの今の時点での評価をするということですね。

**【梅田委員】**

そういうことですね。だから、まだ課題はいろいろ出てくるのでしょけれど、その細かい部分については今後また次にやっていくということですね。

**【大塚会長】**

そうですね。今の時点で評価をして、課題が出てきて、方向修正をするということで、その方向の修正の方向が正しい方向を向いているかどうかというところを今日ご確認いただくという、そういう会議ですね。

**【梅田委員】**

だから、まだできていないうちから評価はしっかりできないと思うんです。課題はこんなところがあるよというのは、できた時点、例えば1カ月先、2カ月先にできるということになれば、そこでの評価ということを1つ念頭に置いていただいて、条件つきで、今の仮の段階、今までのやってきた段階のことはあまりよくわからないので、それで今これができ上がってきたと思うのですが、その段階での評価をさせていただくという、それが次のところに上げられていくということであれば、そういう段階がちょっと欲しいですね。

**【事務局（大澤係長）】**

例えば今ですと区画整理事業というお話になっているところであるのですが、それぞれの事業を集めた計画全体としての評価委員会ということで今回お願いしております。

区画整理事業で言いますとまだ続きますし、今おっしゃられるとおり問題も多々あると思いますので、各事業担当で調整をさせていただきたいと思います。今回については区画整理事業、道路事業といったそれぞれの事業を含めた計画全体として、どうなんだというような評価をしていただければと思います。

**【大塚会長】**

とりあえず評価の対象となる事業がこういう事業を対象に評価をされましたという、その前提の計画自体を我々は共有しておきましょうというのが今の段階です。この後、(3)、(4)でこれについて市が5年間やってこられたことに対して自ら自己評価をされていますので、それを我々が、それはちょっと見方が甘いのではないのかとか、今後のまちづくりについてこう考えていきますという市の考え方について、それはちょっと違うのではないか、もっとこうした方がいいのではないかといったご意見を後でいただければと思います。

**【梅田委員】**

そうですね。我々どもとすると浜井場公園や小牧口駅前広場。その辺が関わるかと思う。

**【大塚会長】**

そうですね。皆さんのお住まいのところで公園なり区画整理、道路整備ということがこの計画の中に位置づけられてやられてきたんだなということでご理解いただければと思います。

**【今枝委員】**

ちょっとよろしいですか。今までのはこの写真を見て、完成度は評価できますが、提案事業に関して、例えばワークショップの成果をどのような成果があってどう評価すればよいのか。

**【大塚会長】**

その評価を、どういう形でどう評価されたかというのは次の議題の中で説明をしていただけたらと思うので、それをまずお聞きいただければと思います。

**【今枝委員】**

事業費が260万円とありますが、これはどういう費用でしょうか。

**【大塚会長】**

それはぜひお答えしたいと思います。

【事務局（戸松係長）】

地元住民の方などに集まっていただき、公園の整備方針や、どこにどういった遊具を配置するかなどを話し合っただけ、それを設計へ反映したものになります。260万の費用は、このワークショップにかかった費用になります。

【大塚会長】

市民の方に集まっていただいて、どんな公園にしたらいいだろうかという意見を出していただいて、それをとりまとめたという会議を4回ほど開催されているというわけですね。そういう会を開催するのにかかった費用ということですね。

【今枝委員】

わかりました。

【大塚会長】

よろしいでしょうか。

それでは、よろしければ次の議題に移りたいと思います。

(3) 事業評価手続き等にかかる審議

【大塚会長】

ここからが本題というか、審議の部分になるわけですが、「(3) 事業評価手続き等にかかる審議」につきまして事務局からご説明をお願いいたします。

【事務局（伊岐見技師）】

それでは、議題(3) 事後評価手続き等にかかる審議につきまして説明させていただきます。

お手元の資料、資料1の26ページをお願いします。

事後評価手続き等に関する事項といたしまして、1、事後評価方法書について、2、効果発現要因の整理、3、成果の評価と実施過程の評価、そして4、事後評価原案の公表につきましてご説明させていただきます。

資料の27ページをお願いします。

事後評価方法書につきましては、お手元の資料、参考資料3、こちらが当地区の方法書になります。こちらの方法書で事後評価及びフォローアップの作業が円滑かつ確実に進められるよう、成果指標の確認の時期や手法などを具体的に記載したのものになります。

資料の28ページをお願いします。



次に、効果発現要因の整理についてです。

初めに、検討体制等についてでございますが、表に記載の庁内関係各課で検討会を開催し、必要な整理等を行いました。

資料の 29 ページをお願いします。

次に、成果指標の達成状況とその他指標の設定についてでございます。

資料 1、計画区域内居住率につきましては、目標値 18.9%に対し、18.8%であり、目標未達成となりました。

指標 2、巡回バス利用者数につきましては、目標値 19 万 1750 人に対し、34 万 1000 人であり、目標達成となりました。

指標 3、安全・安心満足度につきましては、目標値 73.3%に対し、75%となり、目標達成となりました。

そして、計画当初に設定した 3 つの指標以外に、その他の数値指標として定住意欲の向上を設定しました。設定した理由といたしましては、未達成となった資料 1 を補完し、安全・安心で快適な居住空間の創出等に係る事業効果を図るためであります。

資料の 30 ページをお願いします。

次に、数値指標の達成状況の確認と効果発現要因の整理でございます。

初めに、計画区域内居住率でございます。

左側のグラフは年度ごとの計画区域内居住率を表していますが、計画期間内において徐々に増加してきました。しかしながら、令和元年度において目標値にはわずかに届かず、目標未達成となりました。

右側上側のグラフは小牧市全体の人口の動向を、下のグラフは計画区域内の人口の動向をそれぞれ示しております。

資料の 31 ページをお願いします。

右側の所見でございますが、交通利便性の高い本地区において、土地区画整理事業等の良好な住環境の形成に資する事業を継続して実施したことにより、生活利便性等がさらに高まり、定住が促進されていると考えられます。

このような状況により、人口が減少している本市の中においても、計画区域内の人口は増加しましたが、居住率については目標値にわずかに達しない結果となりました。

そして、これを踏まえた改善の方針としまして、継続的に快適な居住空間の創出に努めるとともに、地域コミュニティの維持・活性化をさらに進展させ、誰もが暮らしやすいまちの形成を図ることとしました。

資料の 32 ページをお願いします。

続きまして、巡回バス利用者数でございます。

このグラフは循環バスの利用者数を年度ごとに整理したもので、計画区域内のバスコースの利用者数を抜き出して集計したものととなります。

平成 27 年度、28 年度に実施した巡回バスのコース等の見直しの効果もあり、目標値を大幅に上回る結果となりました。

資料の 33 ページをお願いします。

右側の所見でございますが、利用者ニーズを踏まえたコースの見直し等により、巡回バスの利用環境が向上したことに加え、駅前広場整備による交通結節点機能の強化や良好な住環境形成による人口定着が利用者増加の一要因として考えられます。

そして、これらを踏まえた今後の活用としまして、巡回バスの利用者ニーズを把握しながら、バス運行の見直しを行うとともに、さらに交通結節点機能の強化や人口定着を図り、歩いて暮らせるまちの形成を図ることとしました。

資料の 34 ページをお願いします。

続きまして、安全・安心満足度でございます。

このグラフは、安全・安心でいきいきと暮らせるまちだと思いますかというアンケートにおきまして、「そう思う」あるいは「どちらかというと思う」と回答した方の割合を年度ごとに集計したものととなります。

資料の 35 ページをお願いします。

右側の所見でございますが、地域の活動拠点となる地域交流センター等の整備や、緊急車両の通行が可能な生活道路の整備等によるまちの防災性の向上が安全・安心満足度の向上の一要因として考えられます。

そして、これを踏まえた今後の活用としまして、さらに災害に強いまちを目指し、土地区画整理事業や公園事業を継続し、居住環境の改善を図ります。

また、集中豪雨による被害軽減に向けた事業など、近年の自然災害を踏まえた事業を推進することとしました。

資料の 36 ページをお願いします。

先ほどご説明いたしましたその他の数値指標、定住意欲の向上でございます。

このグラフは、小牧市に住み続けたいと思いますかというアンケートにおきまして、「そう思う」あるいは「どちらかと言えばそう思う」と回答した方の割合を年度ごとに集計したものであります。

なお、平成 27 年以前につきましては、当該アンケートを実施していないことから、それ以降のデータのみとなっております。

資料の 37 ページをお願いします。

右側の所見でございますが、本事業によって生活道路や公園、駅前広場等の居住環境を向上させる事業が進み、安全・安心で快適な居住空間が創出されました。

また、ワークショップを開催し、住民の意見を踏まえた公園の整備を進めていることや、会館などの地域交流を図る場を整備したことで、まちへの愛着が高まり、定住意欲が向上していると考えられます。

そして、これを踏まえた今後の活用としまして、さらに良好な住環境形成を図るとともに、整備した施設において地域住民と連携した持続可能な維持管理手法を検討、推進し、まちへの愛着の高まりにつなげることとしました。

資料の 38 ページをお願いします。

成果の評価と実施過程の評価についてでございます。

初めに、モニタリング、中間評価の実施状況でございます。

モニタリングにつきましては、計画中間年度の平成 29 年度に実施をいたしました。

資料の 39 ページをお願いします。

次に、住民参加プロセスでございます。

小牧口西公園の整備に向け、住民ワークショップを実施しました。平成 30 年度に 4 回実施し、住民の意見を反映した施設設計や施設運営の方針を策定しました。

資料の 40 ページをお願いします。

次に、田県神社前駅駅前広場の整備に向けた住民ワークショップを実施しました。こちらについては平成 27 年度に 2 回実施し、住民や利用者の意見を反映した施設設計の方針を策定しました。

資料の 41 ページをお願いします。

持続的なまちづくり体制の構築についてでございます。

これは事業の実施後につながる持続的なまちづくりの体制が構築されたかについて確認するものであります。

本田区防犯パトロール隊は、本事業で整備した田県神社前駅駅前広場におきまして、駅前広場の花の植え替えやごみ拾いなど美化活動を行っています。

資料の 42 ページをお願いします。

同じく持続的なまちづくり体制の構築でございますが、グラウンドワーク小牧測研は、岩崎山公園におきまして年に 1 回、公園内の落ち葉の清掃活動を行っております。

資料の 43 ページをお願いします。

ここでは、本事業で整備した久保一色本田会館につきまして、計画期間より前の平成 26 年度に開館設計に関する意見調整を地元住民と行っており、こうした住民参加のプロセスを踏んで事業を実施した結果、地元が管理する施設として利用開始する状況に至ったことを確認しました。

資料の 44 ページをお願いします。

最後に、事後評価原案の公表についてでございます。

先ほどごらんいただきました、お手元の資料、「資料 2 の事後評価シート」を令和 2 年 1 月 14 日から 28 日までの間、市ホームページ及び市役所窓口におきまして公表いたしました。

なお、この公表におきまして市民からのご意見等はございませんでした。

以上、簡単ではございますが、「議題 (3) 事後評価手続き等にかかる審議」の説明とさせていただきます。

**【大塚会長】**

ありがとうございます。ただいま事務局から市が実施された事後評価の内容なり手続きについてご説明いただきましたが、今の内容が市の行われた手続きが適正に行われているかどうか、そういった観点から皆様でご審議いただきたいと思います。今の説明の内容についてご質問、ご意見がございましたらお願いします。

**【梅田委員】**

1 点いいですか。よくわからないので変な質問かもしれませんが、区域内居住率の意味がよく理解できないのですが、18.3%とか 18.9%を目標というのは、これはどうなんですかね。分母、分子で行くとどういうことになるのですか。

**【大塚会長】**

区域内居住率の計算式ですかね。

方法書に出ているかと思いますが。

**【梅田委員】**

ちょっと理解できないのですみません。

分母、分子の設定によってはどんな数字にも変えられるので、この辺のところを聞かせてほしい。

**【大塚会長】**

かなり重要なご指摘だと思いますので、ご説明をお願いします。

【事務局（伊岐見技師）】

計画区域内居住率についてのご質問でありましたが、先ほど言われました分子、分母というお話でいいますと、分母のほうは小牧市全体の人口であります。分子は計画区域内ということで、この小牧線沿線地区、こちらの都市再生整備計画の区域の中の人口が分子であり、居住率の数値になっております。

【大塚会長】

よろしいでしょうか。

【梅田委員】

計画前は 18.3%だったんだけど 18.9%になったということですかね。

【大塚会長】

そうですね。小牧市全体の人口に対して平成 26 年度 18.3%の人がこの計画区域内に住んでいたんだけど、それから 5 年後の令和元年度には 18.9%ということで、0.6 ポイント、たくさんの方がこの地区に住むようになったということです。違いますか。事務局、お願いします。

【事務局（伊岐見）】

今言われました 18.9%という数字は、資料 1 の 30 ページにありますとおり目標値になります。この目標値は、計画当初に定めた従前値に対して計画期間の 5 年後の目標値になりまして、今回評価時点においては 18.8%であり、わずかに届かずに、未達成という結果となっております。

【梅田委員】

人数で行くと、計算すると、全体が 15 万ですか。

【大塚会長】

人数については、グラフがあります。小さくて見づらいかもわかりませんが、上のほうが小牧市全体の人口ですので、令和元年度は 15 万 3138 人、それに対してこの計画区域は 2 万 8828 人。

【梅田委員】

下がってきているんだけど、この分は増加していますよと。

**【大塚会長】**

小牧市全体としてはちょっと減少傾向にある。その中でこの地区は増加傾向にあるんですね。

**【梅田委員】**

当たり前と言えば当たり前ですね。

**【大塚会長】**

ですから、どちらかというところのグラフを見るほうが効果が出ているというのが一目瞭然ということがわかりますね。

**【野中委員】**

巡回バスの利用者数ですが、当初の推移、グラフで見ますと目標値が妥当かなという気がするのですが、目標値が19万1750人ですね。実際には34万1000人と大幅にアップしているのですが、目標値の立てた時点での根拠といいますか、何かありますか。

**【大塚会長】**

巡回バスですね。目標値をかなり上回る実績があったので、そもそも目標値の設定時点での考え方というか、そういう点でのご質問かと思いますが。

**【事務局（伊岐見技師）】**

巡回バス利用者数についてであります。目標値につきましては過去の利用者数の推計値をもとに設定しております。

結果としまして大幅に利用者数が増えたことではありますが、先ほどもご説明させていただきましたが、平成27年度、28年度に巡回バスのコースの再編をしております。単純にコースの増やしていることもありますので、大幅の増加要因が今回の都市再整備計画事業の効果がすべてというわけではございませんが、増加の一要因になっているのではないかと整理をしております。

**【野中委員】**

そうすると再編が効果があったということですね。

**【大塚会長】**

平成27年、28年に全市的に巡回バスの路線を見直されたので、そのこと自体がこの計画の目標値設定のときにはそこまで加味されていなくて、実際に見直ししたらこれだけたくさん利用していただいたので、結果として大幅に目標を超えることができましたと

ということかと思えます。

**【野中委員】**

そういうことですね。わかりました。

**【梅田委員】**

バスの利用者というのはどのように集計するのですか。乗ったときにカウントするのか。無料で結構乗る人が多いと思うのですが、そのときの集計はどのような形でカウントされているのかというのが知りたいです。

**【大塚会長】**

巡回バスの利用者数の計測についてのご質問ですが。特に高齢者の方は無料で、料金を払っていると料金で計算できるけれどもということですね。

**【梅田委員】**

僕も無料の口なので、パッと乗ったりして、カウントしているのかという素朴な質問なのですが。

**【事務局（大澤係長）】**

確認いたします。

**【大塚会長】**

それは今確認していただいていますので、後ほどご報告いただくということによろしいですか。

**【萩原委員】**

私自身も難しいのですが、いろいろ考えながら。指標の設定、先ほど野中委員もそうだし、会長からも話が出たと思うのですが、そもそもの指標というか、目標値、我々は恐らくここで事後評価する中で、達成しているねという小牧市側の判断を妥当とするか否か。その際に指標というのはすごく大事だと思っていて、この目標値の設定、特にバスの利用者の場合、過去の利用者からの推計値と先ほど説明がありました。過去の利用者からの推計値ということは、上がってくるだろうから 1 年後にはこのぐらい上がるだろうということなのかもしれませんが、しかし、指標設定に際してとても大切な前提は、まちづくりの目標、この資料で言うと資料 1 の 10 ページのところだと思います。その中で、例えば自動車に過度に依存しない歩いて暮らせるまちづくりという目標があって、この目標に係る指標としてバス利用者があるじゃないですか。ですから、そもそも指標設定にすると

きに過去のバスの利用者からの推計値というよりも、むしろ自動車に過度に依存しない歩いて暮らせるまちづくりとするならば、例えば歩行者の、市民アンケートでいいのかもしれないませんが、バスの利用者以外の指標というのももしかしたら今後あるのかもしれないと思いました。これは意見です。ですから、指標そのものは巡回バス利用者数というところで今回測ったことについては全く異論はないのですが、しかし、その指標を設定する際にはまちづくりの目標、大目標があって、そして目標 1、2、3 があるという説明があるならば、その目標の細かい部分との関連性を持った指標づくりも今後していったらいいのかなという感想です。

その上で、目標 1、例えば人口定着というところの数値目標として客観性を持った形で指標を示されております。この中の目標 3 のところですが、災害に強い安心・安全なまちづくりのところだけ市民アンケートになっていますよね。この点について、目標 3 の指標設定、今回これで一応市民の人たちはみんな安全・安心でいきいき暮らせるまちだということで、そう思う、多くの方がそう思っているからそれはいいと思うのですが、災害に強いというところでは、例えばもうちょっと客観的な指標を設定するのもよいのではないかと思います。そうした指標の設定はとても大切だなと今話を聞いていて思いました。こちらのほう、今後しっかりご検討いただくとともに、質問です、目標 3 の安全・安心満足度については住民からのアンケート、これで測ろうとした根拠についてご説明いただければと思います。要するにこの指標については市民アンケートしかなかったのか、ほかに安全・安心に暮らせる、災害に強い安心・安全なまちづくりというところのまちづくりの目標に係る達成度というか、この事業に係る成果を行う中で、住民のアンケートしか指標がなかったのかをご説明いただきたいです。

#### 【事務局（大澤係長）】

まずこの計画全体の指標の設定ですが、この都市再生整備計画事業全体でということになりますので、例えば道路が何 m 整備されたといったものではなくて、いろいろな事業を実施する中で、作れば増える整備延長ではなくて、整備された結果どういった効果があるのかという視点を踏まえて指標を設定しております。ですので、例えば先ほどの指標 1 の居住率という部分でいいますと、区画整理事業をして道路がどれだけ整備できたという整備率の指標ではなくて、整備したことによって人がどれだけ増えたのかという居住率を設定しています。

そうした中で、ご指摘の安全・安心満足度という部分については、災害に強いというところでいろいろ指標を考える中で、アンケート結果が不安定な部分はありますが、いろいろな事業をやる中でどういった成果をといるのを測る指標としてはアンケートがいいのではないかという判断で設定をさせていただきました。



**【梅田委員】**

関連して。安全・安心の満足度のアンケートに関して、確かに小牧でも安全な場所があると思うんです。ちょっと危ないところもある。だから、そこで取ったデータと安心のところと取ったデータと平均しちゃうとよくわからなくなってしまう。アンケートの取り方はちょっと気になります。

**【大塚会長】**

基本は市民アンケートの中で、この計画区域に限定した回答のみを集計されたということですね。

**【事務局（大澤係長）】**

市民アンケートについては無作為抽出でやったものであります。

今回ここで整理をしたものは、会長おっしゃられたとおり、計画区域が絡む小学校区単位での集計でありますので、計画区域に関係する小学校区のみを抽出したデータとなっています。

**【大塚会長】**

100%は一致しないけれども、小学校区単位で近似した範囲。だけどその中でも地域性というのがあるのではないかというご意見だと思います。

**【梅田委員】**

安全・安心だと、危ないところをきちんとアンケートを取るのも必要だと思います。

**【大塚会長】**

多分この数値というのは道路整備をしたり基盤整備をすることによって今まで危険と感じていた人たちが安心して歩けるようにということで、より満足度が高くなったというふうに読めるのではないかと、そのように市のほうは判断されたということですが、これは30年からR1に対して極端に上がっている。これはどういうふうに見られますか。

**【梅田委員】**

さっき聞いたら、地域を少しずつ変えたり、何か変えているという話を聞いたから、数値を合わせているのではないかと取られちゃうから、いつも同じところできちんとやっていたら、公平になるのではないかと思んですが。

**【大塚会長】**

これについては今回の計画区域の範囲でとっているとのことなんです。

**【梅田委員】**

区域だけということで、わかりました。

**【大塚会長】**

そうすると、だんだん整備が進んでいって、完成度が高くなっていけばいくほど満足度が得られてきたと考えていいのか、どうなんですか。

**【事務局（大澤係長）】**

事業を実施する者としては徐々に成果が上がっているというふうに理解をしたいところではあるのですが、確かに令和元年度だけ、会長が言われたとおり、極端に上がっている。アンケート結果になりますので原因がないかまでは難しいのかと考えており、そこまで考察をしていないのが現状であります。

**【大塚会長】**

ありがとうございます。いずれにしましても、先ほど萩原委員がおっしゃられたように、数値目標として掲げる指標をどう設定するか、これはかなり難しい。実際の実績ではっきりと数字に表せるものはいいのですが、市民の評価という、それで判断するのは結構難しいので、ある程度限界があるかなと思うのですが、この数値目標を設定するにあたって事後評価の方法というか、国のマニュアルあるいは指導などはあるのですか。

**【事務局（大澤係長）】**

事後評価や事前評価という部分で国が示す手引きがあります。先ほど申し上げましたとおり、道路の整備率というのではなくて、道路をつくったことによる効果というものあげるといことがあります。人口の設定ですと、人口を目標値とするですとか、あと、中心市街地の歩行者数ですとか、鉄道駅の利用者数があげられており、もちろんアンケートも参考例としてあり、そういったのも参考にしつつ、実施する事業と地区に合うものを選びつつ、あとはデータの取りやすさも考慮しています。5年に1回しか取れないものですとあまり効果がないので、毎年同じように取りながら、取りやすさというものも考慮しながら設定すべきではないかと考えております。

**【梅田委員】**

最後のところの定住のところ、意欲の向上というところですが、計画区域内と市内全体とがあります。最後に両方とも下がっているのですが、これは効果ありにはなっているのですが、その根拠というか、下がったところに対しては何か意味がありますでしょうか。平成30年に対して令和1年が下がっていますよね。これはどうなんでしょうか。

**【大塚会長】**

これはなかなか難しいですね。微妙な下がりですからね。

**【梅田委員】**

例えばまだ令和 1 年が終わっていないから、途中なのでまだ下がったままなのか、毎年 12 月にやっているよということなのかかわからないので。効果ありとなっているから、本当にこれで効果ありと言えるのかどうか。

**【大塚会長】**

あくまでもここでは基準となっている従前値の平成 27 年度と比べて上がったか下がったかということですね。

**【梅田委員】**

そういうことだと思いますが。目標値が書いていないので。

**【事務局（大澤係長）】**

まずこれ自体、市内全域で取っている市民アンケートの項目になりますので、例えばこのエリアで限定したというものではなくて、全体で取った市民アンケートから計画区域内と市内全体ということで抽出をしております。

成果として、先ほど会長がおっしゃられたとおり、平成 27 年度に比べて増えているということで効果があったらという判断をしています。

あと、目標値がないというお話がありましたが、もともと最初、指標というふうに設定をしていなかったものですから目標値がなかったのですが、目標 1 の居住率が目標を達成できなかったのもので、ほかの指標を用いて効果はありましたということを確認したかったという意味ですので、目標値は当初からなかったもので設定がないということになります。

**【大塚会長】**

指標 1 を補うものとして使われているということで。もしあれでしたら先ほどの巡回バスの計測方法を回答いただければと思いますが。

**【事務局（大澤係長）】**

交通の部署に確認しまして、どのように取るかということで、運転手が人を見て確認をする。カウントしているということなので、無料で券がないので、券で後から確認というのではなくて、乗った人で確認して、それを集計した数字ということになります。

【萩原委員】

1つ意見ですが、資料1の44ページ、先ほど事務局から説明がありました事後評価原案の公表というところで、市民からの意見はなしということでした。こうした事後評価を行う中で、パブリックコメントもそうですが、なかなか市民から意見は出てきませんよね、いつも。それに対してどうしろというわけではないのですが、市民から意見が出てくるようなそういう取り組みを、ここだけではなく、市全体として出てくるような方策を考えてもらえたらと思います。ここでもし意見があったら、自己評価で参考にさせてもらいますとここに書いてあるから、意見がないのはどうしようもないのですが。

【大塚会長】

ありがとうございます。ですから、我々としては、話が戻りますが、数値目標、数値指標の設定の段階から関わっているわけではないので、その設定されたものに対する評価が適正かどうかということまでで評価しないといけないわけですが、そもそもその指標を設定するときに、今後十分検討して設定する必要があるし、こうした原案の公表についてもより多くの人から意見が出るような、そういう工夫もあっていいのではないかと。今後についてのご意見ということによろしいでしょうか。

ほかにいかがでしょうか。

【梅田委員】

市のホームページの話が出たのですが、こういうホームページを使ってやるということで、何かの意見を求めるというのはほとんどゼロなんですかね。例えば別の形だともっと出るとかね。ホームページはあまり見ないんですよね。何か書類が欲しいなというときにちょっと見たりすることはあるのですが、それぐらいで。

【大塚会長】

という市民のご意見をいただきましたが、通常、ホームページ等で見て意見をいただく方というのはどのぐらいいるのか、そこら辺を含めて何か。

【事務局（川島課長）】

ホームページのほかには、市の広報ですとか、そういったもので案件によっては広く周知を図っているところでありまして、市の広報を使いますと各家庭に配られますので、ご覧をいただいて意見をいただくことはよくあります。

またイベントとかではSNSということで、Twitter、Facebook、LINE、そういったもので広く周知して、若い方にも見ていただけるようにしておりますので、今後そういった工夫もしていきたいと考えております。

**【大塚会長】**

普段から市の行政に関心を持ってみえる方だったらホームページを見たりとか、窓口へ行って縦覧というのは結構あると思うのですが、そうじゃない一般の人が何か意見を出すということになると、なかなかこれは、回覧で回したところで費用も膨大にかかってしまう。そこら辺で結局今のようなやり方でとどまっている、そういうところでないかと思えます。

**【梅田委員】**

意外に出てこないですね。出してもね。チラシとかそういうのでも、見られることは見たよとは言われるけれど、それに対して回答というのは少ないですね。

**【大塚会長】**

そういう意味では、そういうものに対して市民の皆さんがより関心を持っていただけるような。

**【梅田委員】**

我々もそういうところはありますよね。

**【大塚会長】**

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。よろしければ、「(3) 事業評価手続き等にかかる審議」というこの議題については、今たくさん意見、質問をいただきましたが、今後に対する意見というのもありましたが、今回のこの市が行われた事後評価の手続きについては特にこのまま修正をすることなく、概ねこの市の行った事後評価は妥当であるという、そういう判断でよろしいでしょうか。

**【委員一同】**

異議なし。

**【大塚会長】**

特にご異議がないということであれば、この事後評価手続きについてはこの評価委員会としては妥当であると判断をさせていただきたいと思えます。

**(4) 今後のまちづくりについての審議**

**【大塚会長】**

続いて、「(4) 今後のまちづくりについての審議」について、事務局からご説明をよろしくお願いいたします。

【事務局（伊岐見技師）】

それでは、議題（4）今後のまちづくりについての審議につきまして説明させていただきます。

お手元の資料、資料1の45ページをお願いします。

今後のまちづくりに関する事項といたしまして、1、今後のまちづくり方策と、2、フォローアップ計画につきましてご説明をさせていただきます。

資料の46ページをお願いします。

初めに、今後のまちづくり方策の検討体制等についてでございますが、先ほどもご説明させていただきましたとおり、庁内関係各課で検討会を開催し、整理、検討を行いました。

資料の47ページをお願いします。

次に、まちの課題の変化についてでございます。

まちの課題の変化につきましては、事業前の課題、事業実施で達成されたこと、そして残された未解決の課題として整理をしています。

一番上の行になりますが、事業前の課題であった居住環境の整備・改善につきましては、土地区画整理事業や公園事業等の実施などにより、地区内での人口定着が図られました。しかしながら、土地区画整理事業をはじめとする基盤整備事業は継続中であり、まだ未整備のエリアが残っています。また一定の人口定着が図られている中、高齢化の進展にあっても持続可能なまちの発展に向け、地域コミュニティの活性化や高齢者の支援等を進める必要があると考えています。

次に、2行目になりますが、事業前の課題であった公共交通の利用促進につきましては、こまき巡回バスのコース等の見直しや、交通利便性の高い地域への人口定着が進み、公共交通の利用者数は増加いたしました。しかしながら、将来の少子高齢化の進展を見据え、変化する利用者ニーズ等に柔軟に対応したこまき巡回バス事業の継続実施や、駅前広場等の適切な管理等により、自動車に過度に依存しない、歩いて暮らせるまちづくりをさらに進める必要があると考えています。

次に、3行目になりますが、事業前の課題であった安全・安心な市街地の形成につきましては、土地区画整理事業により緊急車両の通行が可能な生活道路が確保されたことや、一時避難場所となる公園が整備されるなど、安全・安心な市街地の形成が進みました。しかしながら、土地区画整理事業はまだ未完了であるため、生活道路が狭隘であったり、オープンスペースが確保できないなど、防災上の課題を有するエリアがあることから、今後の都市基盤整備事業を進める必要があると考えます。

資料の48ページをお願いします。

今後のまちづくり方策でございます。

事業実施での効果を持続させるために行う方策として、以下の3つを整理しました。

1つ目は、良好な居住環境の維持・向上でございます。本事業によって創出された良好な居住環境を維持、継続的な人口定着を図る必要があると考えます。

2つ目は、自動車に過度に依存しないまちづくりの継続的な推進でございます。公共交通利便性の高い本地区において、人口定着を図る一方で、継続してこまき巡回バス等の公共交通の利便性確保を図る必要があると考えます。

3つ目は、安全・安心な市街地形成における自助・共助による防災力の強化でございます。地域住民の防災意識等を高め、ハード整備により防災性が高まった地域での防災力を強化することが必要と考えます。

資料の49ページをお願いします。

次に、改善策としての方策について、以下の3つを整理しました。

1つ目は、さらなる居住環境の整備・改善と歩いて暮らせるまちづくりの継続的な推進でございます。土地区画整理事業の継続的な実施により、居住環境のさらなる整備・改善を図る必要があると考えます。また、想定される事業といたしましては右側に記載のとおりでございます。

2つ目は、地域コミュニティの活性化と高齢者支援でございます。計画段階から利用者の意見を踏まえた拠点整備により、地域コミュニティの活性化推進と高齢者支援を図る必要があると考えます。

3つ目は、防災上、課題のあるエリアや施設の整備・改善でございます。防災面で課題のあるエリアの解消と、近年の自然災害に対応した防災性を高める事業を推進する必要があると考えます。

資料の50ページをお願いします。

最後に、フォローアップ計画でございます。

事後評価につきましては、計画期間の最終年度に行っており、まだ事業中でありまして、事業完了後に改めて成果指標の追跡調査を行うもので、それぞれの指標につきまして予定時期と計測の方法を整理しております。

以上、簡単ではございますが、議題(4)今後のまちづくりについての審議の説明とさせていただきます。

#### 【大塚会長】

ありがとうございます。ただいまご説明いただきました今後のまちづくりについてということで、市のほうでどう考えているのかということでもまちづくり方策、あるいはフォローアップ計画についてご説明いただいたわけですが、今の内容が妥当であるかどうか

というところでご審議をお願いします。例えば不適切な点、あるいは改善すべき点があればこの委員会として意見を具申するということになっておりますので、そうした観点からご意見をいただければと思います。ご質問、ご意見等がございましたらいかがでしょうか。

**【野中委員】**

文津区ですが、今区画整理事業を行われているわけですが、道路整備はだいぶ進んできたのですが、それに伴う雨水排水と申しますか、下水道もあるかもしれませんが、大雨が降ったときに道路が冠水するところが3、4カ所あります。それをその都度、区画整理課のほうに連絡しているのですが、一部、雨水排水がまだ完全につながっていないからということで、完全につながればそれはなくなるだろうということなのですが、最近の自然災害を見ているとかなり大雨の頻度も増えますし、量も増えると思うものですから、そういうものの対策はされているのでしょうかということをお聞きしたい。

**【大塚会長】**

それは資料で言うと47ページの一番上の地域特性を活かした居住環境の整備・改善という、区画整理事業が行われているけれども、下水とか浸水とか、そういう問題があったりするのでまだ十分ではない、そういうことです。

**【野中委員】**

そうですね。区画整理事業が完了すれば本当になくなるのかということですね。

**【大塚会長】** いかがでしょうか。

**【事務局（杉山係長）】**

区画整理事業につきましては、面的に整備を図って、その中で雨水排水対策として流末に調整池を整備し、そこまでの排水路を整備してまいります。それがすべて完成されれば大雨のときの浸水被害が軽減されるということになるのですが、まだ事業途中で、一部調整池も暫定では整備してあるのですが、本整備は今後行われていく予定であります。引き続き区画整理の物件移転とか道路整備の進捗を図りながら、早期にそういった調整池、排水路の整備ができるように努めていきたいと考えております。

**【大塚会長】**

47ページの表の一番上の項目の一番右、残された未解決の課題という中で、3行目に「居住環境に課題のある未整備エリアが残っている」という記述ですが、ここで言う居住環境に課題のある未整備エリアというのはどういう意味なのでしょうか。



【事務局（大澤係長）】

こちらは具体的にはまだ道路が狭くて、例えば家を建てるのにも困るような道路が整備されていないとか、また先ほどあった排水の関係で未整備なところすべて含めて未整備エリアとしています。

【大塚会長】

ということのようです。ほかにいかがでしょうか。

【梅田委員】

評価で△というところがありますよね、居住者のところ。一番上の指標 1 の計画区域内移住率、△ですが、これは安心・安全になるような地域だと思うんですが。計画されているところは。沿線というのは大体危なくないところに、高台にできていますので。先ほど言った水災害とかそういうところについては不安だと思うんですね。そういうところまで行き届くような形のフォローアップというか。計画区域内だけではなくて、弱いところも含めて進めていくべきではないか。小牧市全体としてそう思います。

【大塚会長】

あくまでこの区域の中の話なのですが、建設的なご意見として、それを区域内にとどまらず、全市的に広げて実施していったらいいのではないかと。

【梅田委員】

いや、そういうところは逆に×かもしれないね、○ではない、△ではないかもしれない。

【大塚会長】

今のお話のように、安全・安心ということで、一番上の項目ではなくて、一番下の安全・安心な市街地の形成の中、こういうところに防災上の課題を有するエリアを、浸水とかそういうことも含めて、そうしたことは今後都市基盤整備事業を進める必要があるという課題として認識されているかと思われます。

ほかにいかがでしょうか。今後のまちづくりについてですから、皆様のほうからもご意見をいろいろいただければいいところでもありますけれども、よろしいでしょうか。

50 ページのフォローアップ計画というのは、今 5 年目で見直しをするというか、評価するということになっていますが、まだ 5 年が完了していない途中段階の数字なので、5 年たった時点でもう一度計測をして確定値を出しますという話が 50 ページになります。よろしいでしょうか。今枝委員、どうでしょうか。

**【今枝委員】**

ちょっと気になるところは、満足度というはどういう指標というか、どういうベースで作られるかというのは今後の課題だと思いますが、小牧市でも区が 129 区あるわけですから、それで各区の本当にランダムでデータを取られるものと、各区に 1 つずつ必ず入っているかどうかとか、そういうもののデータの取り方があるのですが、そういうものは、各地区に意見を取って、そういうものを満足度に結びつけるといいと思いますが。

**【大塚会長】**

今おっしゃられたことは大変重要だと思うのですが、全市を対象にランダムにサンプリングをして、それを使って特定の地区だけを抜き出してというときに、地域バランスまで配慮してサンプリングをされているわけではないと思うので、それがどのぐらい妥当なものかどうかというところですね。

**【今枝委員】**

区によって 200 世帯と 1000 世帯とあるわけですよ。そこでどの程度の数字を取られるのかということも気になります。

**【大塚会長】**

市の計画でこういう市民意識調査とかアンケートを使って評価指標を設定されることがかなり多いのですが、その妥当性というのは今後市のほうで考えていっていただきたい、そういうご意見かと思えます。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

もしほかにご意見がないようでしたら、本評価委員会としましてはただいまご説明がありましたように、市が検討した今後のまちづくり方策については概ね妥当であると判断をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**【委員一同】**

異議なし。

**【大塚会長】**

ありがとうございます。それでは、特にご異論がございませんので、今後のまちづくり方策については妥当であると判断させていただきたいと思えます。

5. その他

**【大塚会長】**

続きまして、次第 5 ですが、その他に移りたいと思えます。その他について、事務局か

ら何かございますでしょうか。

**【事務局（川島課長）】**

本日は長時間にわたりましてご審議いただきまして大変ありがとうございました。

その他といたしまして、事務局から 1 点、評価委員会後のスケジュールにつきましてご説明させていただきます。

資料 1 の 51 ページをごらんいただきたいと思います。資料 1 の最後のページになります。

本日、当委員会でいただきましたご意見を踏まえまして、事後評価シートの修正及びとりまとめを行いまして、評価結果として国及び県へ報告いたします。そして、3 月には最終的な評価結果をホームページ等で公表する予定であります。

本日、各委員から評価につきまして多くのご意見をいただいたところではありますが、現時点におきまして見込み値としております評価値につきましては、今後継続して行われる事業もありますので、その評価につきましては来年度にフォローアップを行いまして数値を確定させていきます。そしてその結果につきましても国へ報告し、公表する予定としておりますので、よろしく願いいたします。

**【大塚会長】**

ありがとうございます。今日たくさん意見をいただいて、今回の事後評価については概ね妥当であるという結論に至ったわけですが、それ以外、今後こういう計画を立てるときに考えていけないといけない、そういう貴重なご意見をたくさんいただきましたので、そうしたことを今後に活かしていただければと思います。

そのほか、委員の皆様から何かご発言いただけることがあれば、よろしいでしょうか。

もしなければ、以上で本日の日程はすべて終了といたします。

これもちまして小牧線沿線地区都市再生整備計画事業の評価委員会を閉会といたします。長時間にわたりましてご審議いただきましてありがとうございました。

以上